



第四四号
 編集兼発行人 朝日町役場内 大菅 達二
 印刷所 朝日町荒川四参八 阿越 印刷
 発行日 毎月二十日 定価一部六円 送料四円



三月十二日 昭和三十四年朝日町第二回議会定例会が招集され、会期を一応三月二十八日までの十七日間と定め、昭和三十四年度一般会計歳入歳出予算及び特別会計等の外追加議案を含めて三十六議案の審議が行われ二十五日に全議案の審議が終り三十六議案のうち朝日町支所設置条例の廃止の件一件が継続審議となり他は全部原案どおり可決されたほか選挙二件、財産報告などがあり、全案件全部の審議終了したので会期三日間繰上げて閉会さる。

- 主なる議案
- 議案第九号 昭和三十四年度一般会計歳入歳出予算
 - 議案第一〇号 第一九号 国民健康保険、各診療所、簡易水道、自然博物館、南保、泊の各用水、泊病院の特別会計歳入歳出予算
 - 議案第二十六号 朝日町国民健康保険条例制定について
 - 議案第二十九号 朝日町財政再建画一部変更の件
 - 議案第三十一号 昭和三十三年度一般会計歳入歳出第三回追加更正予算
 - 議案第三十二号 朝日町支所設置条例廃止の件
 - 議案第三十四号 入善町外二町舟見中学校組合規約改廃の件
 - 議案第二十二号 朝日町固定資産評価審査委員会の委員選任のため同意を求める件
 - 笹川 一二七五番地
 - 勝田 忠雄
 - 右原案どおり同意さる。
 - 議案第二十四号 人権擁護委員候補

者推せんのため意見を求めるの件
 平柳 二四三番地
 水 下 留 吉
 右 異議なく承認。
 選挙第一号 下山用水組合議会議員選挙の件
 当選者 (朝日町関係)
 藤塚「中沢」下野及び横道
 川瀬袖次郎
 弓野幸太郎
 加納鶴次郎
 高橋、野新及び殿
 広川 喜章
 能沢 健次
 松田定次郎
 廣田芳次郎
 岡田 新作
 舟川新
 接町及び月山新
 河内辰次郎
 柳下嘉之助
 平柳 友吉
 道下、荒川及び泊
 榎 友吉
 選挙第二号 入善町外二町舟見中学校組合議会議員選挙の件
 当選者
 山崎 四、七九六 七沢 景明
 五、五九二 永口 謙治
 山崎新 三七三 松田 保

決定の必要上現在関係方面で種々検討されていますが将来の朝日町計画街路は如何にあるべきかを町民の皆さんから広く意見を聴き度いと思ひますので色々な構想を建設課までお寄せ下さいます様お待ちしています。

な都市計画用の三千分地図作成のために富山測量社の技師が貴宅を訪れることがあるかも知れませんが御協力をお願い致します。

(建設課)

富山県観光開発事業計画に基いて今年度県下十四ヶ地区を指定、調査班を編成し調査することになり朝日町の白馬、朝日岳の登山道路と町の観光施設計画も調査の対象となつて第十四調査班が担当、雪解を待つて実施することになりました、この機会に不振がちであつた朝日町の観光協会を再編して強力に再出発する協議が去る四月三日観光関係団体代表者が参集し新会則並新役員で再出発することに決定、町当局提案の町の観光計画等を審議散会した。

新役員

会長	朝日町長	本村 本松
副会長	朝日町連合	魚津 寅吉
常任理事	朝日町議会議長	米田 吉二
	朝日町議会議長	大村 房次
	宮崎漁業組合長	岡谷与兵衛
	大連山保勝会長	谷口 栄蔵
	国鉄泊駅長	佐藤 四雄
	小川温泉社長	中川 寛治
	朝日町体育協会長	鹿熊 安正
	朝日町旅館組合長	小杉与四長
	朝日町旅行組合長	村口 清次
	朝日町教育委員長	坂東 久松
	朝日町々内会長代表	松原 外松

本年度の施政方針

朝日町長 本村 本松

町村合併を行つて五年、野中地区の分離問題が合併以来の命題として新しい町建りのことは進められていなかった。新年度は専ら都市計画の樹立に重点を注ぎ四十七万一千円を基礎的経費として計上、それを基盤に朝日町の一体化を図り事業も都市計画に関連性のもののみを根幹として推進したいと考えて予算編成に当つてみた。

支所の廃止による連絡所の統廃合、交通通信の町の一体化による町運営、これは経費節約のためのみでなく合併した意義も当然ここにあるのだと信じている。消防分団、森林組合、農業共済組合も同様一体化の推進に努めてみたい。

予算の編成に当り、歳入面では増税を行わないで六三%に当る七千四万円が町税で、地方交付税や国庫支出金のふくらみと四百万円の町債を含めて一応当町の財政再建計画額内の一億一千一百三十一万八千九百円を見込んで組んでみたのであるが、前年度の予算と比較して七百九十一万円の歳入増となる。

歳出面をみると(中略)
(昭和三十四年度予算書参照)

本年の教育費では泊中学校の移転改築の用地代と小川中学校の校舎増築による施設拡充に三百二十四万円を計上したが将来共、朝日町の中学校の数と位置とが新しく町建りの上に決定づけるわけであつて一般会計に対して教育費が一八、五%を占めているのも将来の町民に期待をか

けていふことになる。

産業経済費の中、新しく新農山漁村建設費に浅海増殖費、町有林造成費等に百十万円程計上して新農山漁村の育成に留意した。

本年と明年との二カ年で三枚橋と月山をつなぐ小川橋を新設するため本年度において七百万円を土木費に計上した。いづれは矢張り都市計画との関連があり三十三年度事業としてやる岩崎、南保を結ぶ橋梁とも一連の繋りがあることになる。

社会及び労働施設費一千四百四万圓中に失業対策事業費が前年度より百五十八万円を増加して六百十一万円を計上するに至つたが、これは失業者の増加に伴うことによるもので、これによつて朝日町の一般土木や農業土木にも充分効果を挙げることにもなるわけである。

保健衛生費でも結核予防費を増加して六十五万円を計上し環境衛生の充実を図り観光客の誘致にも配慮してみた。

なお朝日町の当面の問題として各位の協力をお願いしていますところの教育方面では泊高、中、小の問題において、泊高校に商業科増設については県もこれを認証し現に生徒募集中であります。これは主として朝日町住民の恩恵をうける率も多く、百万円の施設補助を要求されており一教室を提出し高中小学校が協議して高校が一教室を空けてこれに当てることにした。泊中学校をでき得

れは境中学校と統合する形で小丸山グラウンド近くに移築させたいと云う意向を打出し三十五年度には実現させたく、その設計並に用地等の経費も少しは当初予算にもみたものの前回の泊高校のものと共に四月以降再設計変更の際、予算に計上させていたたこうと考えている。

それと共に泊保育所も腐朽し改築のことも県は了承しているの近く県の補助百五万円と団体の寄付金百円とをもつて約四百万円の経費を投じて泊保育所の移築をなし、現建物を失業保険の給付所に充てたく失業保険給付者の六〇〇名が魚津に通えば車馬賃一カ月に五〇万円を要するとのこと、給付額も年額七千二百万円となる由であります。以上により職業安定所の出張所設置の前提ともなることと存じますが、これも再設計変更の際に提案する所存であります。なおその財源については種々配慮している次第である。

次に北陸電力Kの境川発電所の着工に際し地元大平、蛭谷の三部落の土地あるいは林道等の補償に三百万円を要しこれは固定資産税の見返りとは云え、早期に一部支払いの余儀ない事情のため計画変更に要する渉外費をみていただきたく承つてほしいのであります。おかげをもつて北陸境川発電所は出力一万K、資金十三億円を投じ、明年七月には完工の予定であり、関西電力も技術陣の計画では朝日町は、適地として選定を得ることと思ふ。

なお予算に計上をみないで国費、県費での事業として大屋、横尾、泊の海岸線の護岸工事及び砂防、奥石谷の地汙り対策、小川越道の奥地林道の延長、上小川橋の修復は早期に着工してもらへる状況である。

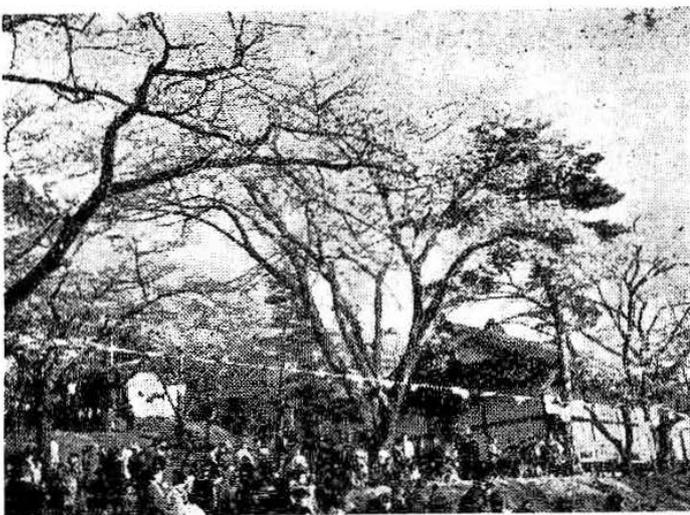
特別会計の内容は、

泊病院	四二、一二二、〇〇〇円
国保	一八、七四四、〇九二円
大家庄診療所	二、〇五五、〇〇〇円
笹川	七六〇、七六〇円
境	四〇、七六〇円増
山崎	八一六、〇九〇円
簡易水道	三三、九一〇円減
自然博物館	一、九二五、四五〇円増
南保用水	七五、四五〇円増
泊用水	三、八四七、七五〇円
	三、四二四、四五〇円増
	(笹川水道新設)
	二五〇、〇〇〇円
	六〇七、〇〇一円
	一六二、〇二五円

野中地区財産処理については、会期中に委員会に諮り議会の了承を得て決定したいが、当地区財産の処分に関する入善町との協議会を持つべきだと云うのは県並に自治庁の意向である。

なお舟見中学校の問題は藤塚、下野で三十八名在学しているが、これは教科書関係もあり四月一日より小川中学校へ入学させることとし、上山崎地区の三十七名は父兄並に生徒の希望が舟見中学校に止まつていたとの線が強く組合立で行くか、委託でゆくかの二面的な考えで進まねばならないが、宇奈月町の要望もあり発言権を持つために組合立継続が有利とも考えられるのである。

以上朝日町昭和三十四年度の町政方針の一端を申述べた次第である。
(三月十二日町議会の町長挨拶)



御成婚祝賀観桜会

4月11日

小丸山公園にて

昭和 34 年度朝日町歳入歳出予算

一般会計

歳 入

Table with 4 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較増減 (△印は減). Rows include 町税, 町民税, 固定資産税, etc.

歳 出

Table with 4 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較増減 (△印は減). Rows include 議会費, 役場職員費, 消防費, etc.

Table with 4 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較増減 (△印は減). Rows include 耕地事業費, 水産業費, 商工業費, etc.

昭和34年度朝日町 国民健康保険特別会計歳入歳出予算

歳 入

Table with 4 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較増減 (△印は減). Rows include 国民健康保険税, 財産収入, etc.

歳 出

Table with 4 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較増減 (△印は減). Rows include 役場職員費, 保険給付費, etc.

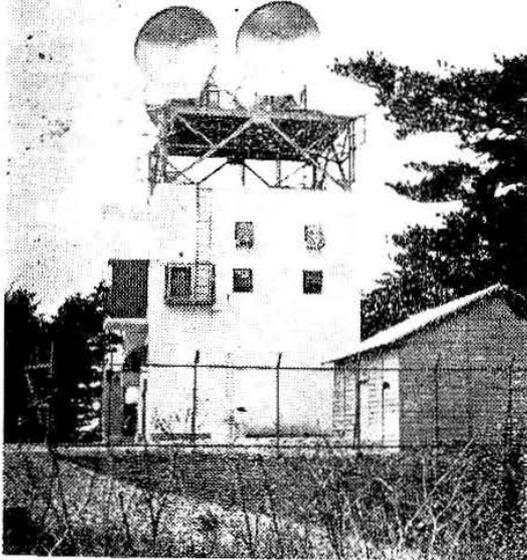
Table with 4 columns: 会社名, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較増減 (△印は減). Rows include 朝日町国民健康直営, 大家庄診療所, etc.

城山頂上のマイクロウェーブ

四月一日より開始

朝日無線中継所は日本電信電話公社により昭和三十三年十二月、建設されたもので、北は大峯梁師等を経て新潟に、横手、赤城等を経て東京に、又は南は富山金沢等を経て大阪に結ばれております。使用している電波はマイクロウェーブと云はれるもので非常に周波数の高いものです。現在、このような無線中継所は全国に約百ヶ所建設されて、テレビジョンの全国中継、主要都市間の電話即時化に役立つて居ります。

マイクロウェーブ無線中継機七台アンテナより受けたマイクロウェーブの電波を強くするもので、NR及び民間テレビジョン用として三台、市外電話用(四百八十回線を収容できます)として二台使用しており残りの二台は、故障の時に自動的に切換へる為のものです。超短波無線中継機三台、遠隔監視制



マイクロウェーブ

御装置一台

所内の機械の故障の有無を親局である富山無線中継所へ無線で自動的に報告します。又富山局よりボタンをおすことにより朝日局のエンヂンを廻したり止めたり、無線電話で新潟、東京、富山、金沢等と通話する事も可能です。

FEM交流無停電装置一式

エンヂン、フライホイール(はずみ車で約一、五トンの重さ)モーター発電機より構成され、ふだんはモーターにより発電して居りますが停電になるとエンヂンが直ちに廻り出して発電機を廻し一瞬もテレビジョンや電話が切れないよう考慮されて居ります。

バラボラアンテナ四基

鉄塔上に見えるお碗形のもので富山方向に二ヶ、新潟方向に二ヶついております。電波を受けたたり送つたりするので内部の象のはなのような尖端から電波を出し一旦お碗の反射板につき当つて空中に発射されます。この外各種の装置が設備されておりますが国産科学の最高をゆくものであります。

「もしも」の時は大声で

近所の協力を

―農繁期の防犯―

△戸締りはわが家の防犯
朝起きて見ると、母は魂のぬけた人間のように呆然としていました。母が驚くのも無理はありません。自転車、お金、それに店の品物までが何者かを持つて行かれてしまったのです。父は「今月は商人にとつては一番大事な月なのに」と淋しそうでした。

「皇太子殿下御成婚記念植樹祭挙行さる」

昭和二十五年国民運動として発足された国土緑化運動は本年で十週年を迎え又意義深い皇太子殿下御成婚の年でもあり全国的に記念植樹が提唱され尚当町が今年度より新規事業として計画中の町営造林造成事業を皇太子殿下御成婚の良き日を祝して去る四月十日南保岩井谷地内において植樹祭に合せて鋳入の式を富山県知事代理(下新川事務所長)富山県緑化推進委員長林務課長始め町内有志七十余名出席の元挙行されました。

この町営造林造成事業とは昭和三十三年四月一日分收造林特別措置法の施行に依り実施するもので土地所

取られてしまつては大変だから」と言つていつもサイフのついている腹巻をして行きます。私達兄弟も毎日二度ずつカギのかけ落しがいかどうか見て廻ります。

私の家は農村にあるため一〇番に電話をかけても通じないので、「もしもの時は外へ出て大声で近所の大人に知らせなさい」と、よく両親に言われます。

これは中学二年の女学生の作文です。私たちはこの平凡な内容の中に身近かな教訓をくみとることが出来ます。

- △押売りにきつぱり「いりません」
- 田植の季節です。農家のみなさんこれだけは注意しよう。
- ①怪しい、見なれぬ人は田んぼ仕事るときでもよく注意して、人相、服装を見ておきましょう。
- ②自転車は、少しの間でも、すぐカギをかける習慣をつけよう。
- ③押売りの撃退は、品物に手をふれ



- ず、きつぱりと「いりません」
 - △わが子を水から守るには!!
 - ①保護者の油断は事故のもと、わが子から目を放すまい。
 - ②大きい子供に子守をさせる。
 - ③幼い子供は、季節託児所に預けよう。
 - ④川ふちで遊んでいる子供をみたらよくいい聞かせ、家人に知らせよう。
 - △農業は必ず赤旗の下で
 - ①農業は必ず団体で使用し、農家個人では使わないこと。また残つた薬も団体に保管しよう。
 - ②使用のときは必ず指導員のもとで行うこと。撒布区域を実施の二日前から、終つた七日間、人の見やすいところに明示し、絶対に入らないこと。
 - ③撒布するときは、附近に人がいないか、風向に注意する。
 - ④からだの悪い人、手足に傷のある人は、共同防除に加わらないこと。またマスクや手袋などの防除具は必ずすること。
 - ⑤一般の人は農業撒布中はもちろん赤旗の立つている附近へ近寄らないこと。
- 有者(南保財産区谷部落)と造林施行者(朝日町)の間に分收造林契約が締結され、面積五ヘクタールに、その土地に適する立山杉又は赤松の植林から撫育伐採まで四十年間に推定一萬石の良材を得てその収益を分け合うと云う町有財産の造成と部落財産の造成を図ろうとする事業であります。
- 尚四月一日より実施された緑化運動の一環として去る二日、三日両日に亘り催された苗木即売会も町民各位の協力のもと、三、四〇〇本余の果実、花木、庭木山行苗が即売され一段と町内が緑化されたことは喜びにたいません今後良く撫育され緑したる朝日町と花で埋もる朝日町を建設しませう。

朝日町に於ける 包蔵水力と

その開発価値について (一)

酒井 栄

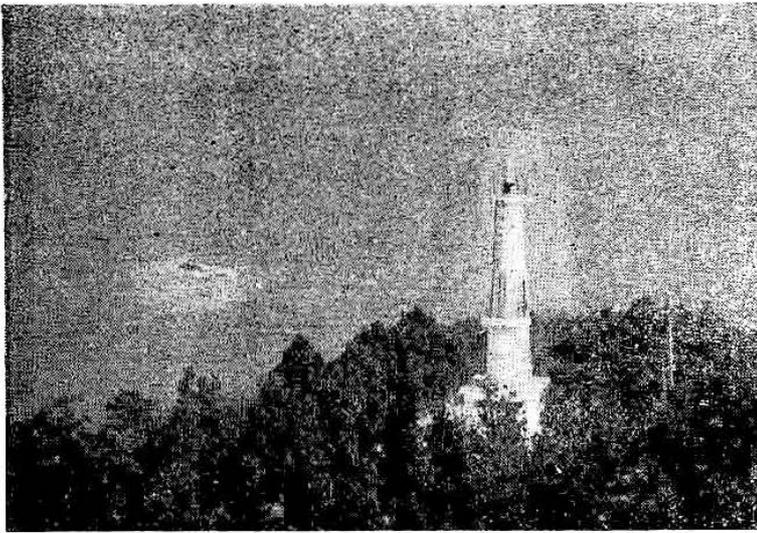
町議會議員

① 発電水力小史

は富山県に電燈がついて六十年になるが、アーク灯の其の昔から今日の螢光灯、夜光文化の変遷は遷暦を迎へて人間の人生行路のよりに多彩である。この様に光にめぐまれ、家庭電化に於ても最近目醒ましい普及率を示し電気水飯器だけでも毎年四〇、〇〇〇KWの電力需用が増加して居るにテレビ、ミキサー、洗濯機、クリナー等の増加重力を加へると驚くべき数字となり、私どもの生活もずいぶん合理化されたのであるが案外人々はこの

電気の効用や有難さをなんとも感じていない様である。

水力の利用の最初の方法は竹を直接河川又は運河の流水に依つて運転したものであるが現在では工業生産、家庭電化、鉄道電化、農業電化等に向ひ社会の一大動力の一つとなつた。日本の発電水力は明治二四年京都の菅野湖疎水工事に附随して開発されたのが最初であつて当時水力の有利であることは稍々認められようやく各地に於て水力発電の建設がなされる様になつたが、明治三六年に火力三一年に火力が僅かに一三、〇〇〇KWに過ぎなかつた。現在では水力が約六、四〇〇、〇〇〇KW、火力約四、〇〇〇、〇〇〇KWに達して居る。



宮崎鼻灯台

この府は開政明治43年に日本の第一次水力調査をなし我が国の包蔵水力の全貌を明らかにしたのが未開発地点数三、〇八三ヶ

所湯水量を標準とした最大出力四、八二〇、〇〇〇KWであつた。其の後大正七年に第二次水力調査を行い其の結果未開発地点数二、八二二ヶ所最大出力七、四三〇、〇〇〇KWの包蔵水力となり、更に昭和一二年に第三次水力調査がなされ既開発地点が一、〇五二ヶ所此の出力は、常時二、八〇四、八九〇KW最大六、四五五、五〇〇KWとなり未開発地点が一、七一一ヶ所最大出力一、三、五八一、一六〇KW常時出力六、九六六、七四〇KWとなつた。

更に 今回、昭和三十一年から第四次水力調査が行われ、目下通産本省に於て集計中で六月末に発表のほすであるが、既開發合せて約三五、〇〇〇、〇〇〇KWと云われている。

② 朝日町に於ける 包蔵水力

に於てだいたいおわりの前節に於て思ふが、水力の初期時代は専ら湯水量を標準として電氣は一般電燈用に供されて居つたのであるが、その後一般動力用にも供給されるようになり、火力を併用することにより発電所使用水量は低水量若しくは、平水量を使用する様になつた。運営方針に於ても、依然として水力を以つてベースロードに當て、火力を以つてピークロードを担当させたのであるが、昭和の始め頃から水力に依つてピークロードを担当させる運営方針が採られ、こゝに発電水力工学に於ても、一大飛躍をなすに至つたのである。

現在、調査続行中の朝日第一、朝日町に包蔵水力として我が国に見る実規模の大きなもので、ピークロードを担当する。高堰堤、調圧水槽及び圧力水路を伴う飛躍した計画案であるため、開発価値についても他に飛躍していることは申すまでもありません。

日本 は水力資源に恵まれて居るが、これは他の資源に比較してのこたであつて、絶対量は決して著しいものではない。然し、採算上良好な地点は次第に開発され残り少なくなつて居る現状を広く関係町民に認識して居るべき等有利に開発するに於ては広い分野に亘る専門的な知識と技術の進歩はもとより、河川の総合的利用や開発の便益に直接影響する補償問題等特に地元民の絶大な協力がなければ如何に立派な計画であっても其の着工が他に優先出来ないものでありまして此の点を特に要望致します。

朝日町包蔵水力の内訳

境川 二ヶ地点	一〇、二〇〇KW
小川 一ヶ地点	五、五〇〇KW
(笹川を含む)	
黒部下流増 二ヶ地点	四九七、〇〇〇KW
合計 五ヶ地点	五一二、七〇〇KW

此の内境川の二ヶ地点は地元民の協力に依りすでに着工されて居ります。

③ 計画地点の選定

水力とは地球表面に存在する。水のエネルギーを動力として、最も経済的に利用し得るには次の条件を満足しなければならぬ。

①運動の方向が一定なること。②その水量の増減にある一定の限度のあ

③機械を設備するに便利な場所が存在すること。④利用するに當つて工事費がある限度を超えないこと。

以上の条件を総て満足する地点が一応は開発の対照となつて国土調査に基いて実地に踏査を行い、落差と流量の概測、地図(五千分の一)と現地の相違、堰堤、水槽、発電所等工物設置所の地形、地質の調査、工事の難易、工事材料の有無及運搬の便否、他の利水事業との関係、湛水池に於ける水皮物件並湛地の補償関係、住民感情等の精査をなし

発電 計画を樹立するのであるが異なるが未開発電源調査、設計については一朝一夕に成し得るものではなく、永年に亘る機まざる努力と確実なる調査によつて始めてその着工を可能ならしめるものである。然しなから各々電力会社に於ては相当数の計画地点を持つて居り、将来の電力需要増加の予想に依つて工事費を検討し、着工順位が決定されるのであるから、着工順位に先だつて相当期間の電力需用の増加を推定することが必要で少くとも五ヶ年程度の見透しを必要とする。

今後 の見透しとして電力需用は石炭の生産、燃料事情等より考えれば、人口の増加、工業生産力の変遷、電燈需用のみならず家庭電化、鉄道電化並びに農村電化等があり、日本の現状では単に国内関係のみで決定することは出来ないが最近の電力事情は

昭和 三十二年五月にデフレ政策がとられてから、一般に景氣の停滞に伴い、一年以上も低迷を続けて来た電灯電力需用も昨年十月頃から景氣好転の兆を反映し急激に上向いて来て、非常に明るく伸びはじめ我々町民の待望する朝日第一、第二地点の開発の前途にも幸あれかと念願するものである。

▽弁当肥の効果
苗代日数が長すぎたり、厚まぎの苗代では、田植前に肥切れして苗が黄化する事がある。この時田植の三々四日前に坪当り硫酸十匁くらいを追肥すれば本田で活着、分ケツがよい。

▽苗代病害虫防除
苗代はあらゆる病害虫の発生、産卵の根元場所ですから、五月上旬部落共同で田植四々五日前に終るよう、ウンカヨコバイ類の飛来の場合にはマラソン乳剤の一千倍液に水銀剤の二千倍液を混合して撒布する。その他の害虫の多い場合はホリドリル乳剤やデルドリル乳剤と水銀剤を撒布すること。

▽水稲の施肥を考へなおそう。
今年の稲作も春来るとともにすでに農家の皆さんも増収への設計を胸



に秘めているであろうが、近年稲の生育は極めて危険な様相が認められる。

現状の施肥量等に反当窒素施用量の増大、毎に警鐘を乱打し、土壌調査に基づく施肥基準もその一環として努力して来たが相次ぐ豊作に有名無実の感なきを得ない現状である。多肥、多分ケツは必ずしも増収でない事実は昨年の倒伏状況から明瞭である。

▽密植で増収する条件

最近だんだん密植になつて来ているがこのネライは①坪当の穂数をあげる手段②一株の生育に期待する栽培法から脱却することが考えられるがもう一ついわれる最高分ケツ期と

穂百分化期をちぢめることで早植すればするほどやりやすくなる。

▽田植は好天の波に
早植の限界は気温14度となつてい

▽耕耘使用の注意
機械を使用するに当つてはまず第一エンジンを開始したら五々六分間低速回転によつて潤滑をなれさせまた熱によるエンジンの膨張の変化を

急激にしないようにする。
水田の代カキは粘土分の多い田や湿田は耕耘機で何回もかけることは禁物である。これは土壌中の酸素が逃げて土粘り、稲の活着が悪くなるからである。したがつてごく簡略に能率的に表面をならす程度がよい。

本年の暖候期の天候予報
気温は晩春からつゆ期にかけてやゝ変動が大きく時々低温が現われ易い傾向があります特に四月下旬から五月上旬頃晩霜のおそれがありそう

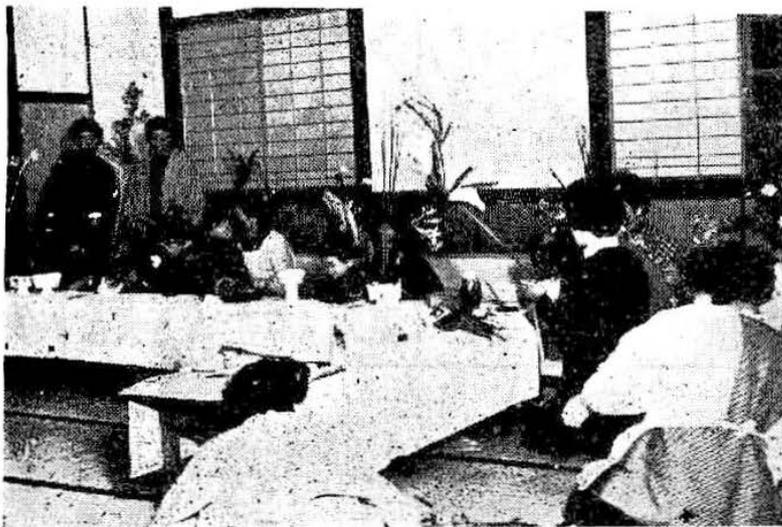
又六月中旬初め頃と七月中旬頃一時のかなり低くなることがありそうです。盛夏期は比較的に高温が期待されま

なる傾向があります又六月末から七月上旬頃につゆの中休みがありそうです。なほ夏期の天候は最近不順気味の傾向がありますので今後発表の長期予報に御注意下さい。

山もの採りは

火に御注意

山菜とりの好時節になつたがこの頃は乾燥の時期でもあるので山に入る人はとくに火の始末に注意して頂きたい。思わぬ不注意から山火事になる危険がある。さる四月七日笹川南保の境界附近の笹川共有林で山火事があつて約六百坪を焼いた。



室 教 花 生

館 公 民 桜 町

山菜を入れたフロシキ包みが五個現場に放置してあつたことからして火を消そうとして消しきれず恐ろしさのあまり逃げたものと思われる。

五ヶ庄公民館の

生 花 教 室

皇太子殿下の御成婚を奉祝して五ヶ庄公民館では四月十日十一日の両日桜町公民館にて青年学級の生花教室を開放して生花大会を催うしたが婦人会及び一般の協力があつて盛会であつた。

新 刊 案 内

朝日町立中央図書館

- 月蝕 石原慎太郎
- 尼僧物語 キヤスリン
- ロマンスは終らず ノーマン
- 古事記物語 石井庄司
- 我が愛する詩人の伝記 室生犀生
- 綴方教室 豊田正子
- 現代に生きる信条 ホイット
- にあんちゃん 安本末子
- 皇女悲歌 加賀淳子
- ダムサイト 小山いと子
- これからのトマトづくり 松原茂樹編
- 最高殊勲夫人 源氏鶏太
- 日本のあけぼの 三笠宮編
- あなたの老後年金 朝日新聞社編
- リース編 婦人倶楽部編
- 風のうちそと 吉屋信子
- 本年度自動車受験問題と解答 小原元三
- 日曜左官 高荷 宏
- 土こねの記 山手樹一郎
- 苦悶するデモクラシー 美濃部亮一
- マカロニとスパゲッティ 雄鶏社
- 家庭のメートル法 金園編社
- 事件の裏窓 毎日新聞社編
- ある日わたしは 石坂洋次郎
- 現代結婚礼式 箕輪春村編
- 恋慕奉行 角田喜久雄
- 駅 幸田 文
- 北海道動物記 永田洋平
- 怖るべき放射能 印度政府編
- 宿六一家 福島繁太郎外
- 黄色い老犬 フレッド、ギブリン
- これからのキユウリづくり 松原茂樹編
- 人生は思ふ通りに生きられる 多田政一
- チヨゴリザ登頂 桑原武夫
- 愛人 丹羽文雄